

平成28年度 カムイワッカ地区モニタリング実施計画

1. 調査の目的

カムイワッカ地区の利用のあり方を検討する当部会においては、3年を区切りとして車両規制期間を中心とした利用計画を策定することとしており、交通アクセスに関する今後の対策を検討するために現行ルール下における利用動態を把握、解析する必要がある。

本調査はカムイワッカ地区の混雑状況の予測のために必要な基礎的なデータの収集とその解析をするものである。

2. 調査の内容

(1) カムイワッカ湯の滝前カウンター調査

カムイワッカ湯の滝入口に通過者カウンターを設置し、道路開通期間中のカムイワッカ湯の滝の利用者数の把握を行う。

(2) カムイワッカ地区における滞在時間調査

カムイワッカ地区の駐車スペースの手前に調査員を配置して、7月から10月までの期間で計4回程度、1回あたりそれぞれ4時間程度、駐車スペースに入る車両及び出て行く車両の通過時間、車両番号及び乗車人数を記録し、湯の沢滞在時間、滞在人数、主な年代や団体構成、滝への立入りの有無等について調査する。

(3) 知床五湖園地における滞在時間調査

知床五湖の駐車場の手前に調査員を配置して、7月から10月までの期間で計4回程度、1回あたりそれぞれ4時間程度、駐車スペースに入る車両及び出て行く車両の通過時間、車両番号及び乗車人数を記録し、園地滞在時間、滞在人数、主な年代や団体構成等について調査する。

(4) カムイワッカ、知床五湖の選択率等調査

カムイワッカマイカー規制が実施されていない期間（想定は7月）において、カムイワッカと知床五湖への車両の利用選択率及び知床五湖分岐からカムイワッカ間の平均移動時間等を調査する。調査は2日間程度実施し、カムイワッカ地区の駐車スペースの手前及び知床五湖分岐の2箇所に調査員を配置して、知床五湖駐車場に入る車両及び出て来る車両、カムイワッカ方面に入る車両及び出て来る車両の各々の通過時間、車両番号を記録し、各利用地における滞在時間、選択率、移動時間、乗車人数を調査する。（（1）の調査日程とは同日程とする。）